

浜岡原子力発電所4号機 気体廃棄物処理系における
水素濃度高の警報点灯について

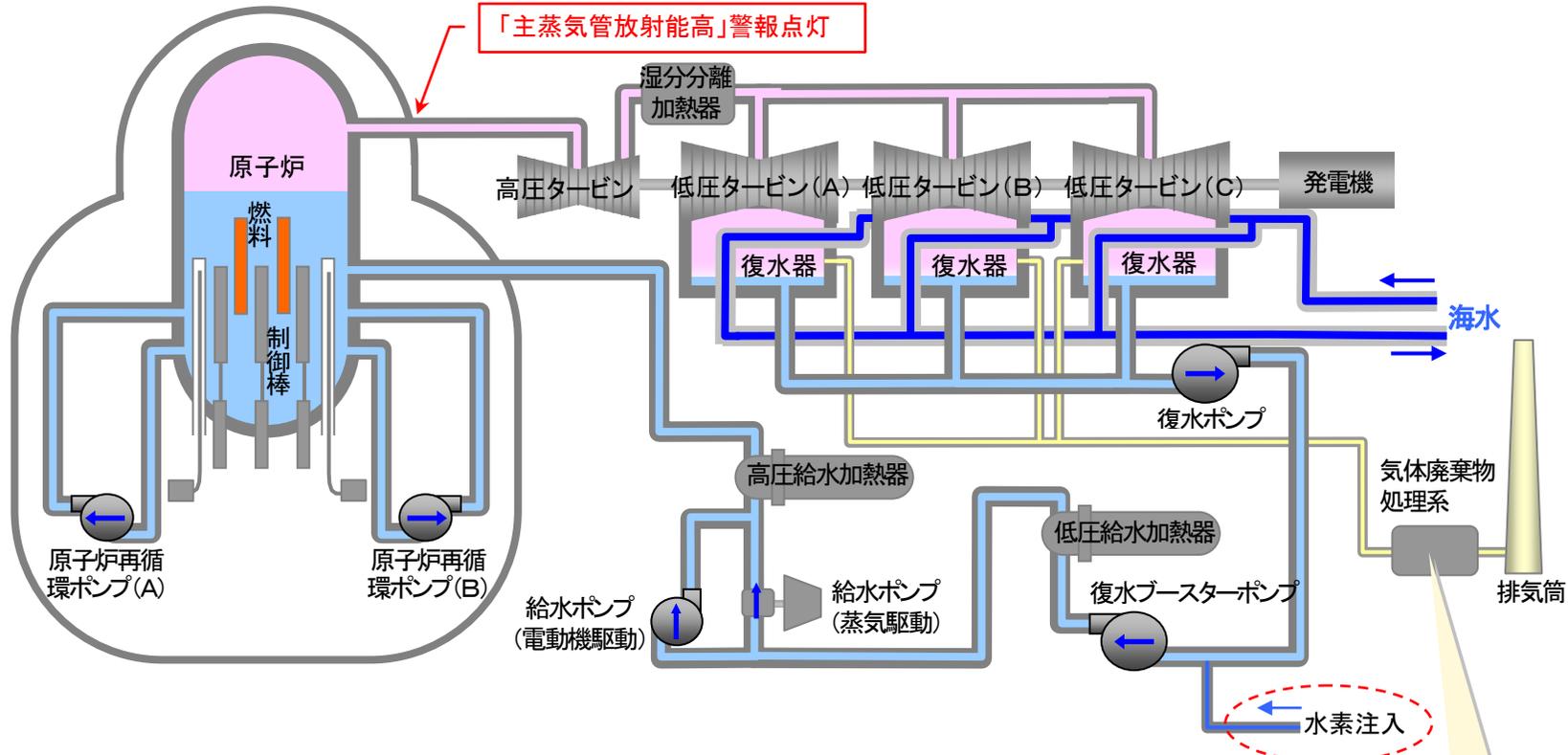
平成 21 年 7 月 29 日

発生号機	4号機（調整運転中） ：沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成21年7月29日
状況	<p>原子炉内構造物への予防保全の観点から、平成21年7月27日より原子炉内への水素注入（※1）を行っていましたが、翌日の28日に水素注入装置で「水素流量偏差大」の警報が点灯したことから、一旦水素注入を停止しました。</p> <p>本日、午前9時50分から水素注入を再開し、設備の確認を行っていたところ、午前10時06分に「主蒸気管放射能高」の警報が点灯し、水素注入による影響が考えられたことから、直ちに水素注入を停止したところ、午前10時09分に「主蒸気管放射能高」の警報は消灯しました。</p> <p>その後の午前10時28分に、「排ガス復水器出口水素濃度高」の警報が点灯し、同34分に消灯しましたが、この間に、水素濃度が、排ガス復水器出口の水素濃度計器で、測定範囲の5%を超えました。</p> <p>警報消灯以降、水素濃度は通常濃度（0%）まで戻っており、また、気体廃棄物処理系の状態、排気筒放射線モニタの指示およびその他のプラント運転状況にも異状はなく、現在、調整運転を継続しています。</p>
原因	通常より多くの水素が原子炉へ注入されたことによるものと考えられますが、その原因について調査いたします。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。

※1 原子炉内への水素注入は、原子炉水中の溶存酸素を低減し、原子炉内構造物の応力腐食割れを抑制することを目的に行っています。

以上

4号機 気体廃棄物処理系における水素濃度高の警報点灯の状況



「排ガス復水器出口水素濃度高」警報点灯

